学校番号	1301

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	デザインワーク	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・今までに学んだ知識を活かしつつデザインにおける基礎的な技術、技法を学習します。
・アナログ表現だけでなくコンピューターを使った表現も交えながらデザインの基本、応用を学んでいきます。
・クラスメイトと作品を見せ合い評価しあう中で、それぞれの見方、感じ方の違いを共有し、表現に対する理解を深めます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
デザインにより解決できる課題を発見し、色彩の効果等、科学的な根拠に基づき構想を立て解決しようとする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
デザインを通して、多様な感じ方や物の見方を学ぶ意欲を高めると共に、自己から抜け出し幅広い視野を感じ取れる人間性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・社会に関わるデザインについて幅広く学び、理解している。 ・授業の中で学ぶ技能が身に付き、実践している。	・自らの発案をデザインの作品として明確に表している。 ・自分が表現したい作品の目標に沿って、計画的に制作を行っている。	・積極的にデザインについて学び、深く興味関心を持とうとしている。 ・他者の発想やアイデアに関心を持ち、自らの物の見方の幅を広げようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	オリエンテーション	授業のきまり 内容説明 教材配布	c 授業のきまりや流れを積極的に理解するよう取り組めたか a 説明を受け止め、指示通り教材に記名し適切に収納できたか	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度
	表現技法（基本）	色彩・配色基礎 色彩によって目的に応じた効果が出せるかを学ぶ レタリング 明朝体・ゴシック体・英文字・創作文字などを学び、視覚伝達デザインとしての文字の効果を学習する。	a 画材や道具の使い方を理解し使うことができたか。 a 幅広い色遣いができたか。 b 表現方法を理解し、作品に対して効果的な使い方ができたか。	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度
ステージ2	表現技法（応用1）	「カルチャーフェスタ」のポスター製作 今まで学んだ技法や表現方法を使いポスターを制作する。文字や配色によって、より効果的な伝達デザインを考える。	a:文字や配色などで効果的な表現ができているか。 b:表現方法を理解し、作品に対して効果的な使い方ができたか。 c:他の生徒の作品を鑑賞し良さを認め共感できたか。	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度
ステージ3	表現技法（応用2）	パッケージデザイン 紙パックの飲料水のデザインを考える。生活の中のデザインについて考える。平面から立体に組み立てたときの効果も考えてデザインする。	a:文字や配色などで効果的な表現ができているか。 b:表現方法を理解し、作品に対して効果的な使い方ができたか。 c:他の生徒の作品を鑑賞し良さを認め共感できたか。	ワーク 作品	ワーク 作品	ワーク 作品 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度